

キッズ本格おしごと体験報告

日 程：令和5年7月30日(日)
時 間：10:00～17:00 ※最終受付 16:30
場 所：イオンモール名古屋茶屋

令和5年7月30日(日)にイオンモール名古屋茶屋において、「キッズ本格おしごと体験」という行事を行い、本年のGWにイオンモール扶桑で行われた際と同様に調査士会として参加をしました。



「キッズ本格おしごと体験」の大きな内容としては、無料で配布される当日の出店ブース(土地家屋調査士、プログラマー、福祉関連の仕事、ハンドメイド)のチケットを持った子どもたちが、自由に各ブースを訪れるというものです。

土地家屋調査士のブースでは、各種境界標や、書籍「じめんのボタンのナゾ」を展示し、「家の周りや通学路にこれらの境界標が設置されているけれど、見たことある？」と聞いて子どもと親御さんとの話を促したり、これら境界標を設置しているのが私たち土地家屋調査士であることを説明したりしました。



また、子どもだけではなく、その親御さんにもトータルステーションの視準や距離計測を体験してもらいました。子どもたちはもちろんのこと、それ以上に夢中になってトータルステーションを操作する親御さんの姿もあり、そうした姿が次の来場者を呼んで、結果、子ども143人とその家族が調査士ブースを訪れてくれたほか、隣のブースで設営されていた他組織の方が、「どうも気になって仕方がない」と来場者が少ない時間に、調査士ブースを訪れてトータルステーションをさわっていく姿も見られました。

今回の事業を通じて、子どもたちへの説明は専門用語を使うわけにもいかず、日頃のお客さんへの説明がどうであったかを省みる機会となりました。また、子どもたちを通じた土地家屋調査士のPRは、きっと遠い将来につながっていくのではないかと感じました。

次回以降、もし同様の事業があるのであれば、今度は開催地の近くで開業している土地家屋調査士にも参加していただきたいと感じています。それは、比較的近隣から来場される方が多いため、来場者と地元の話で盛り上がり、より土地家屋調査士を身近に感じていただくことができるからです。

今回の事業にご尽力いただいた皆さまに感謝申し上げます。ありがとうございました。

(社会事業部副部長 佐野 潤)